

山口県立 総合医療センターだより

Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center

特集 超音波センター開設
私たちのMissionと新しくなったコト



2021.8 Vol.45

- ① 院長挨拶
- ② ③ ④ 特集 超音波センター開設
- ⑤ 看護部通信 救急看護認定看護師のコロナ禍における役割
- ⑥ 地域医療連携ニュース
- 令和3年度 患者支援連携センターの体制が新しくなりました / ご紹介の際はホームページをご活用ください / 退院前会議のオンライン化を促進しています
- ⑦ インフォメーション 広報番組放送予定、県民公開講座開催予定、地域医療従事者研修会のご案内、編集後記
- 外来診察担当医表(別紙)

Leader's

院長 武藤正彦

山口県立総合医療センターの院長として着任して4年目に入りました。第3期中期計画に基づいて院内の医療環境整備を進めています。令和2年度末にはがん治療の要である放射線治療装置が入るリニアック棟の建て替えが終わり、本年の8月から本格稼働を始める予定です。さらに、長年の念願であったPET-CTの導入を行うべく、現在ワーキンググループを立ち上げ担当副院長を中心として具体的に話を進めています。地域がん診療連携拠点病院に相応しいゲノム医療を取り込んだ新しい体制作りを目指すこととしています。

次に整形外科医療に話を移します。伝統ある股関節の手術で臨床業績を積み上げてきました。その伝統を生かしつつ最新の手技を開発するべく、このたび機能が異なる2台の手術支援ロボットを導入しました。ミリメートル単位の正確さで骨切りをすることが可能となり、股・膝関節部への人工関節置換がより完成度の高いものになりました。

令和3年6月1日からは、院内のあるところに拡散していた超音波診断の機器類を1か所に集約して超音波センターを立ち上げ、機能強化を図りました。その他にも、内視鏡治療センターの新設準備など、山口県の基幹病院として質の高い高度専門医療の安定的供給に資するよう日夜努めています。

今後とも、県民のみなさまのご理解とご支援を引き続き賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



特集 | 超音波センター開設



私たちのMissionと新しくなったコト

- 開設に向けたプロジェクトチームが設置され、各診療科の医師と中央検査部の臨床検査技師が中心となって運用を検討してきました。
- 約1年の準備期間を経て、当院の超音波センターは運用を始めました。



センター長
奥田 真一
(循環器内科部長)



副センター長
三輪 一知郎
(産科診療部長)



副センター長
桑代 紳哉
(消化器内科部長)



臨床検査技師
永井 仁志
(中央検査部主任)

- 日本超音波医学会 専門医・指導医
- 日本心エコー図学会 SHD心エコー図認証医
- 日本循環器学会 専門医

- 日本超音波医学会 専門医・指導医
- 日本産科婦人科学会 専門医・指導医
- 日本周産期・新生児医学会 周産期専門医
(母体・胎児)・周産期指導医(母体・胎児)

- 日本消化器病学会 専門医
- 日本肝臓学会 専門医

- 超音波検査士(循環器、消化器、血管)
- 血管診療技師

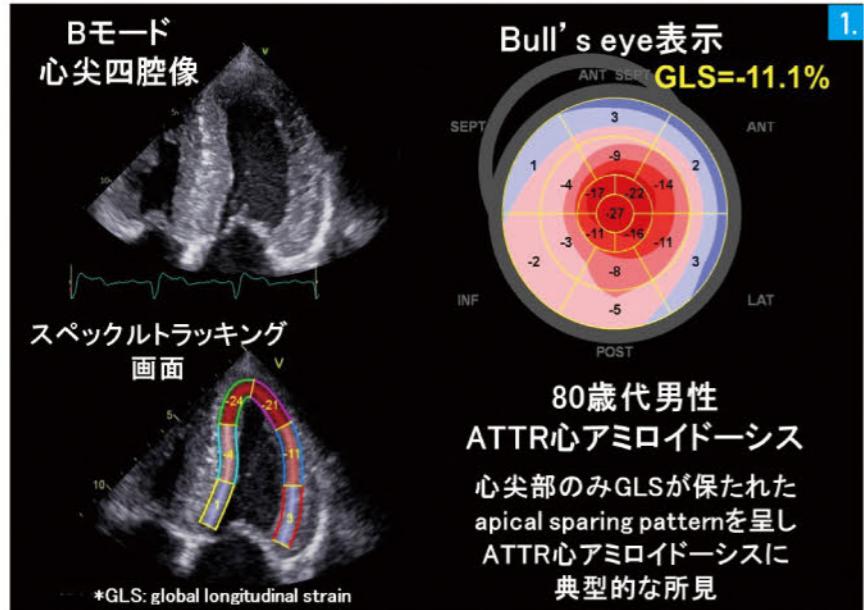
ご挨拶 超音波センター長 奥田 真一

当院の超音波センターは、質の高い画像診断による良質な医療の提供、超音波診断装置の機器管理の一元化、超音波検査における人材育成を主な目的として令和3年6月1日から運用をスタートさせました。6つの分野(心臓、血管、腹部、乳腺、甲状腺、産婦人科)について、それぞれ専門科の医師と検査技師が低侵襲的な検査を行っており、腹部、乳腺、甲状腺については、超音波を用いた生検による病理診断も行っています。この度のセンター化により、これまで6室であった超音波検査室を8室に拡大し、感染管理も徹底できるよう個室化しました。そして、最新の超音波診断装置を導入し、高度な画像診断を行うことで早期に適切な治療に結び付けることが可能となりました。

また、これまで各診療科・病棟ごとに管理していた超音波診断装置の機器整備と管理を超音波センターが行うことによって、必要とする医療現場が有効に利用することが可能となります。最新のハードと適切なソフトの導入により、若手医師及び臨床検査技師の育成の促進が期待でき、救急外来をはじめとする臨床の場での診療能力の向上を目指していきたいと考えております。

多くの診療科で連携し、超音波センターを運用していくことにより、地域の先生方のニーズに合わせた診断が可能となりました。お困りの症例がございましたら、地域医療連携室へご紹介ください。

私たちのMissionと新しくなったコト



超音波センターの特徴

1. スペックルトラッキング法
心臓の機能をより詳細に評価する「スペックルトラッキング法」が8部屋中5部屋で可能になりました。心機能障害の早期診断や心筋症の鑑別などに有用です。



2. 最新機器の導入
最新の超音波診断装置の導入により、3Dエコーの解像度が向上し、臓器の細かい動きが確認できるようになりました。これにより正確な術式の選択に貢献できます。



3. 非侵襲的な肝硬度測定
腹部超音波検査では、肝臓の硬さを測定するシェアーブエラストグラフィを行っています。非侵襲的に肝線維化の進行を診断できます。

4. 人材育成
当院には3名の超音波専門医・指導医と7名の超音波検査士(体表臓器、循環器、消化器、産婦人科、血管)、1名の血管診療技師が在籍しています。患者さんに安心して検査を受けていただけるよう、人材育成にも力を入れています。

センター化により、新たに可能となった検査、さらに低侵襲となった検査など、超音波センターの特徴をご紹介します。



2.

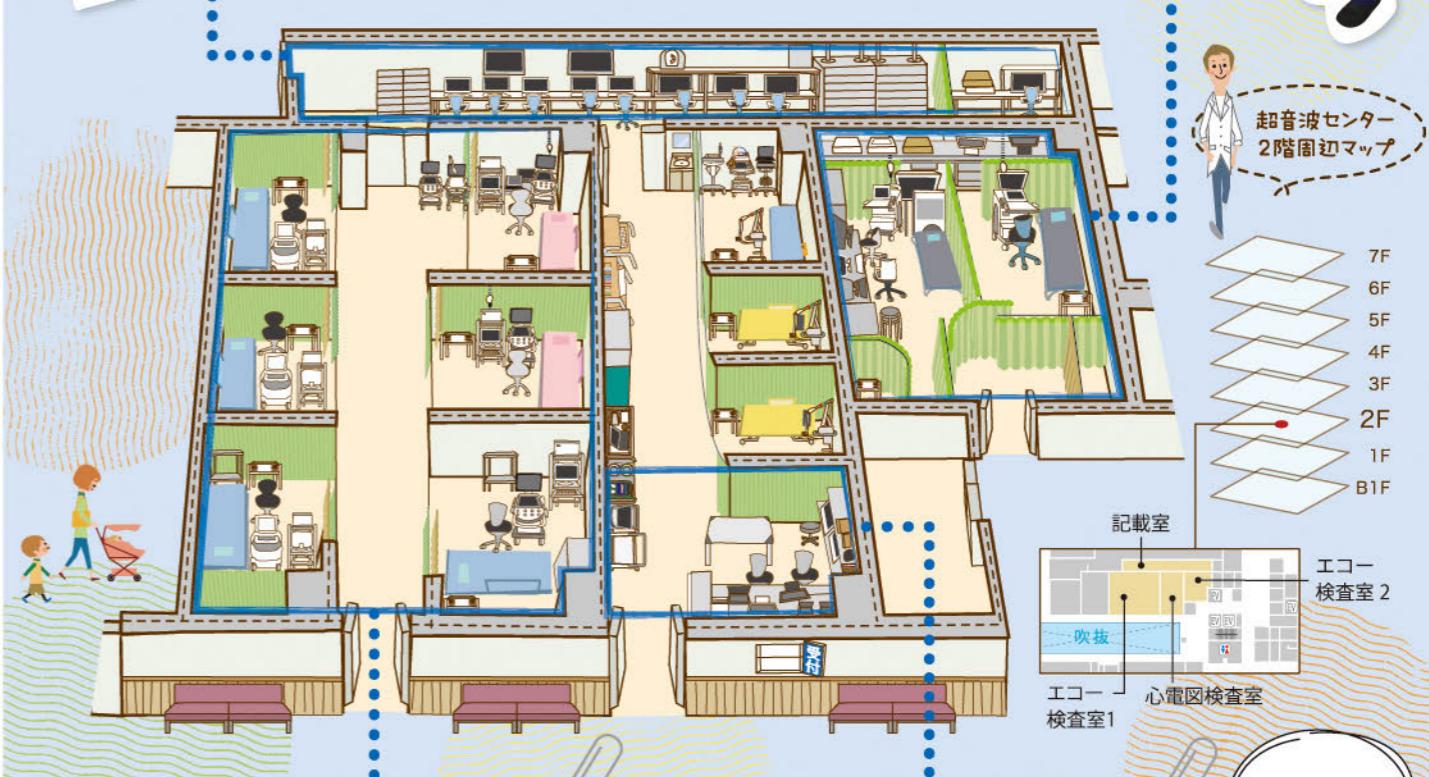
記載室



検査室の隣には検査結果を確認できる場所を設けています。毎週定期的にカンファレンスを行い、情報共有と画像診断の精度の向上を目指しています。



生検に対応



個室化



昨今の感染症対策に配慮し、検査室を個室化しました。各部屋に空調が完備されており、安心して検査を受けていただけます。



受付



救急看護認定看護師のコロナ禍における役割

救急看護認定看護師 看護主任 池田美智子



当院は高度急性期機能の病院であり、救命救急センターは3次救急医療施設として日夜、患者さんの受け入れを行っています。

私は、救命救急センターで救急看護認定看護師として、救急医療のニーズに応えるとともに、危機状態にある患者さんおよびそのご家族の精神面へのサポートなどを行う役割を担っています。救急搬送される患者さんは突然、生命の危機的な状態を迎られることがあります。そのような時もチーム一丸となって患者さんとご家族の支えになり、安心感を提供できるような救急看護を目指しています。

現在は、救命救急センターにも、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の患者さんが来院される可能性があります。患者さんが来院されると、感染症に

り患しているかどうかを確認するために、まず感染のスクリーニングを行っています。常に感染のリスクがあることを考え、他の患者さんに感染させないように感染管理を行っています。感染症のスクリーニングのみならず、緊急度・重症度の判定を行い、診療や治療の優先順位をつけて病態を予測しながら、適切な診療を迅速に受けることができるよう努めています。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症が落ち着かない状況ですが、今後も、感染対策を意識しながら、専門職業人として日々の努力を怠らず、患者さんの安全、スタッフの安全を確保しながら患者さんの命を救い、生を支え、地域の救急医療を担っていきたいと考えています。



令和3年度

患者支援連携センターの体制が新しくなりました

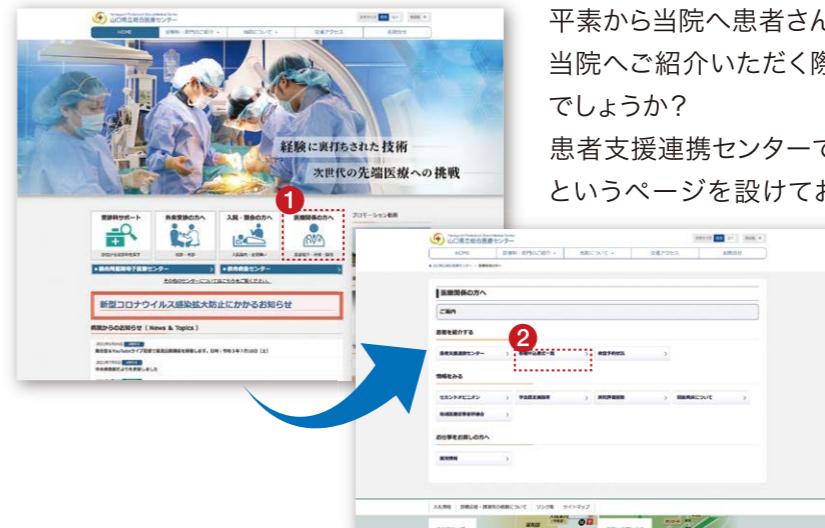
新たなメンバーを迎え、総勢27名のスタッフで患者さんの受診から入院・退院、そして、その後に至るまでの相談・支援をワンストップで行ってまいります。



就任のご挨拶 地域医療連携室次長・看護師長 能野 明美

今年度から地域医療連携室に配属になりました。病棟経験が長く未知の世界に飛び込みましたが、想像していた以上に病院にとっては重要な部署であることを実感しています。紹介患者さんの予約や受診、入院の調整、他医療機関への紹介等、地域の関連機関との連絡調整を行うだけでなく、病気でお困りのありとあらゆる相談に対応しています。患者さんに安心して医療を受けていただけるよう、地域との連携を密にし、関係を深めていきたいと思います。

ご紹介の際はホームページをご活用ください



平素から当院へ患者さんをご紹介いただきありがとうございます。当院へご紹介いただく際、必要書類でご不明な点はございませんでしょうか？

患者支援連携センターでは、ホームページに「各種申込書式一覧」というページを設けており、診察・検査等でご紹介いただく際に

必要となる書類をまとめて掲載しております。Word、Excelファイルを準備しておりますので是非ご活用ください。

ご紹介に必要な書類の掲載ページ
(Word、Excelファイル保存)

トップページの①「医療関係の方へ」をクリックし、次のページの②「各種申込書式一覧」をクリック

退院前会議のオンライン化を促進しています

感染症対策のため、当院への来院を控えるなど様々な配慮をしていただいているのですが、患者さんの退院に向けての打ち合わせは積極的に行いたいと考えています。

当院ではオンライン会議ツールのZOOMを活用して退院前会議を行えるよう体制を整えております。退院前会議へ積極的にご参加ください。





やまぐち医療最前線 (tys テレビ山口)



放送日時	放送内容	出演
9月4日(土) 18:55~19:00		
9月8日(水) 16:00頃~	チームで取り組む糖尿病診療	内分泌内科 竹田 孔明 医師

令和3年度 県民公開講座の開催予定

※受講料無料ですが、集合型の場合事前申込が必要です！

開催日時	テーマ	出演	会場(集合型)
9月25日(土) 14:00~15:00	認知症	脳神経内科 福迫 俊弘医師	当院2階大会議室
10月23日(土) 14:00~15:00	がん放射線治療	放射線科 中島 好晃医師	

参加方法について 今年度の県民公開講座は従来の集合型とweb参加型のハイブリッド式で開催。

【集合型】(定員30名) 事前申込必要! 事務部企画調整室 0835-22-4411までお電話ください。

【web参加型】 事前申込は不要。 当院ホームページに設置する専用タブをクリックし、ご参加ください。

新型コロナウイルス
感染流行期の場合は
集合型は中止し、
web参加型のみと
させていただきます。

地域医療従事者研修会のご案内 (看護部主催研修会)

開催日	テーマ	内容	対象職種
9月14日(火) 16:00~17:00	新人看護職員研修	急変時の対応	新人看護師
12月1日(水) 13:30~14:00	補助者研修	食事の援助・口腔ケア	看護補助者
1月18日(火) 13:30~14:00	補助者研修	看護補助者としての行動	看護補助者

■お問い合わせ先 / 山口県立総合医療センター 地域医療連携室(TEL:0835-22-5355 FAX:0835-22-5745)

編集後記

先 日、長男のランドセルが届きました。県外移動を自粛している我が家では、出張店舗を利用してラン活(ランドセル選び)をしましたが、魅せ方が上手いと感じさせるものもあれば、もう少し工夫すれば良いのにと感じさせるものもあるなど、展示の仕方はメーカーによってさまざまでした。広報誌においても、多くの方々に上手いと感じていただける作り方を意識しつつ、正しい情報をわかりやすくお伝えしていきたいと思います。(企画調整室H.A)

【基本理念】 県民の健康と生命を守るために満足度の高い医療を提供する



山口県立総合医療センター
Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center

〒747-8511 山口県防府市大字大崎10077番地
TEL 0835-22-4411(代表) FAX 0835-38-2210
URL <https://www.ymgp.jp/>